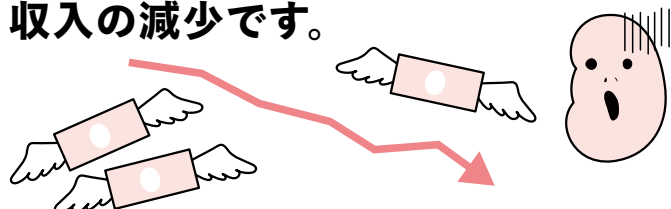


CKDとお金

慢性腎臓病

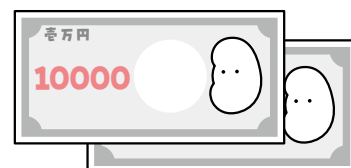
今現在働いている方は、なるべく仕事を継続することを検討してください。

治療を続けていく中で、経済的に苦しくなり、
満足のいく生活が送れなくなる原因の一つは、
収入の減少です。



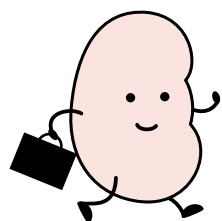
通院や入院が必要な場合は

- ①傷病休職(病気やけがで会社を休むこと)期間の定めがあるか就業規則を確認してください。
- ②社会保険に加入している場合、傷病休職期間中は申請すれば傷病手当金が支給されます。

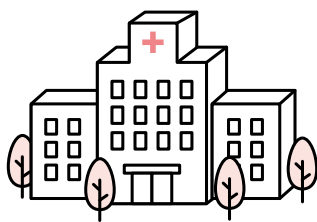


**収入減は支援や制度で
ある程度カバーできます。**

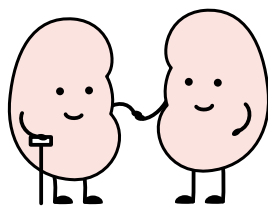
利用できる支援や制度をできるだけ活用してください。



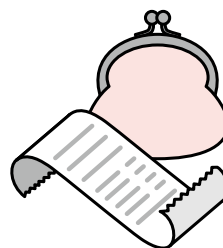
仕事や学業に
関わるサポート



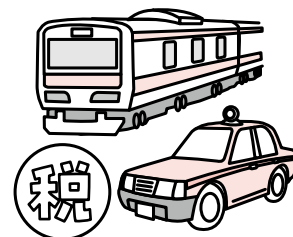
医療費の助成



日常生活の支援



生活費の支援



公共料金・
交通費の割引

**支援や制度を上手に活用するための相談先の有無は、
その後の生活設計に大きく影響します。**

お住まいの地域の福祉事務所や障害福祉課、医療ソーシャルワーカー
ご家族、患者会・ピアサポート団体など、相談先を見つけましょう。

地域の福祉事務所や障害福祉課は、病気や障害のある方の
自立と社会参加を促進するため、福祉サービス利用の調整
などを行う行政機関です。

かかりつけの病院に医療ソーシャルワーカーがいない場合
は、かかりつけ医か病院の相談窓口にお問い合わせを試みましょ
う。連携のサポートを行ってくれる可能性があります。



みんなでつくろう、これからの医療

with Kidney プロジェクト

<https://www.jinlab.jp/withkidney/>

患者と医療者がつくった腎臓病とのつきあい方ガイド

運営
一般社団法人
ピーベック



<https://ppecc.jp/>



制作

腎臓病情報サイト
「じんラボ」

じんラボ

腎臓病に関わる人の幸せのための
<https://jinlab.jp/>

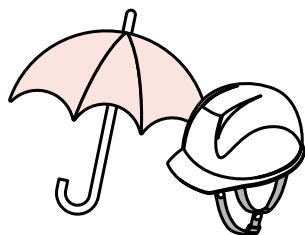


社会保障は、あなたの 安定したくらしを守るためのもの

社会保障は4つの柱でできた、私たちを生涯にわたって支える制度です。

社会保険

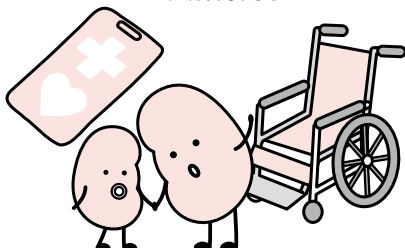
さまざまな困難に備えて
強制加入の保険制度



病気やけが、出産、障害、失業、老後などに備えて、一定の給付によって生活の安定を支える保険制度です。

社会福祉

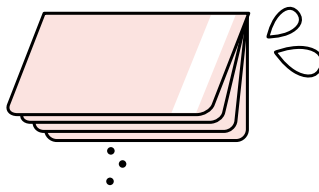
障害者やひとり親家庭への
支援制度



障害などでくらしに不便や困難を抱える方が、安心して社会で暮らせるように、自立や参加を応援する制度です。

公的扶助

経済的に厳しい状況に
ある方への支援制度



経済的に厳しい状況にある方に、最低限の生活を保障するとともに、自立に向けた支援を行う制度です。

保健医療・公衆衛生

健康に暮らすのための
予防・衛生制度



誰もが健康に暮らすため、感染症の予防や栄養、衛生、健康づくりなどを社会全体で進めていくための制度です。

必要な支援を受け、安定したくらしを実現するための準備が、
CKDとの新たな生活を始めるためのはじめの一歩です。

こうした思い込みから、社会保障制度の利用を躊躇してはいませんか？

自分はまだ
困っていない

もっと困って
いる人がある

手続きが複雑で、
自分には
無理そう…

なんとなく
申し訳ない

使ったら他の人に
迷惑がかかる

自分なんかは
対象じゃないはず

社会保障は他人と比べるものではなく、あなたの安心のために使うものです。

自分に合った制度を上手に活用できる人こそ、自立していると言えます。



みんなで作ろう、これからの医療

with Kidney プロジェクト

<https://www.jinlab.jp/withkidney/>

患者と医療者がつくった腎臓病とのつきあい方ガイド

運営

一般社団法人
ピーベック



<https://ppecc.jp/>



制作

腎臓病情報サイト
「じんラボ」

じんラボ

腎臓病に関わる人の幸せのための
<https://jinlab.jp/>

